| 科目分類 | 看護専門科目　応用看護 | | | 開講時期 | 4 年 | 前期 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 救急看護学実習 | | | | | |
| 選択/必修 | 選択必修 | 単位数（時間数） | 2 単位 | 90 時間 | 授業形態 | 実習 |
| 担当教員 | 河合　正成　・　池原　弘展　・　山﨑　加代子 | | | | | |
| メールアドレス | m-kawaai@tsuruga-nu.ac.jp | | オフィスアワー | 実習前後・随時 | | |

| | |
|---|---|
| 授業目的 | 急病や外傷などで突然健康を害した救急患者および生命の危機状態にある重症患者の看護について理解を深める。 |
| 授業概要 | 急病や外傷などで救急外来を受診された患者とその家族に必要な看護を、看護師とともに関わりながら学ぶ。<br>HCU 等で集中治療を受けている患者の看護については、臨床指導者の下でクリティカルケアの実際を学ぶ。 |
| 授業計画 | 1. 救急外来における初療時の看護実践を通して看護の役割と特殊性を考える。<br>2. 生命を脅かす重篤な健康問題により ICU で治療を余儀なくされている患者と家族への看護実践を通してクリティカルケアの理解を深める。<br>3. 1・2 を通して、患者に関する情報を身体・こころ・社会関係・時の流れの 4 視点から患者を全人的に捉える意味を深める。<br><br>（詳細については実習要項を参照） |
| 教材<br>参考文献等 | 救急看護学で使用した教科書および参考書を用いる。 |
| 成績評価<br>基準・方法 | 実習目的の達成度、実習への取り組む姿勢や態度から総合的に評価する。 |
| 履修要件 | 成人急性看護学・救急看護学・災害看護学を修得していること。 |
| 留意事項<br>その他 | 特になし |
| 実務経験のある<br>教員の教育方法 | 看護師としての超急性期にある患者の看護の経験を活かして、救急看護に必要な看護実践を身につけるための実習指導を行う。 |